



極太の丸太梁や大黒柱を使って天井の高い大空間をかなえた。梁に見られる表面のヒビは長期自然乾燥の証し。トリプルガラスの採用など断熱性に優れ、大空間でも快適に過ごせる。



!! | CHECK POINT

8寸角の大黒柱が2本と1尺余りの丸太梁

品質の高さで知られる東濃産の檜の大黒柱は8寸角のものが2本。また、少しでも広いLDKとスッキリとした天井を演出するため、直径1尺以上の丸太梁2本で屋根を支える構造を採用。いずれの材も長い年月をかけて自然乾燥させることで強度がさらに高まり、耐震・耐久性に極めて優れる。

大喜工務店 滋賀

極太の梁と柱が囲む大きなワンルーム

京都・八幡市 Aさんの家
家族構成 / 夫75歳 妻61歳



天井の高さも相まって開放感あふれるLDK。床材は無垢の節なし檜、壁は大喜工務店のオリジナル珪藻土。無垢材で造作した大きなダイニングテーブルを中央に据えた

無垢の木が香る大空間でゆったりと暮らす

15年前に建築条件付きの土地を購入し新築したAさん夫妻。しかし構造上の不安に加え、本物の素材が使われていないなど多くの不満を抱え、自分たちにふさわしい家にしようと建て替えを決めた。「もともと無垢の木の家や平屋へのあこがれもあり、実行するなら早いほうがいいと思いました」そう語る夫が依頼先を検討していたところ、雑誌で目にとまったのが大喜工務店。無垢材をふんだんに使うだけでなく、標準的な木造の家をはるかにしのぐ強さを兼ね備え、ひと目惚れしたそう。

「当初対象エリア外というお話で拒否されましたが、見学会などへ何度も通い、私たちの思いをお伝えすると引き受けてくださったんです」と夫。旧居での反省点も踏まえて意識したのは、必要以上に個室を設けないこと。その答えとして提案されたのが、LDKと寝室を一体化できるワンルーム仕様の間取りだ。印象的な2本の太い梁と大黒柱をはじめ、自然素材に囲まれた暮らしも、まさに夫妻が思い描いた理想どおりだった。

「住み慣れた今もたまに木の香りが感じられ、うれしい気持ちになります」という妻に対し、夫も「この家になってからノドの調子がよくなった」と、住み心地のよさを日々実感している。



1mの壁面後退を満たしながら、室内のゆとりを重視して建ぺい率いっぱい設計。夏の日差しを遮るため南側の庇を伸ばし、東側の上部に通風の小さな窓を設置。アプローチには階段のほかにスロープも併設した



①「キッチンにタオルを掛けたくなくて」という妻の声に応え、インテリアとして映えるタオルボックスを造作 ②クチーナのアイランドキッチン。標準のレンジフードは天井にじか付できないため、テクスチャーを合わせ、大喜工務店で製作した



Kitchen



「ふたりとも退職して家にいる時間が長いので、トイレの利用が重なって困らないように」(妻)と、2つのトイレを設置。スペースにゆとりがあった玄関側は少し広めに設計した

- ⑦ポーチに大容量のポストを造作。長期にわたり家を空けても郵便物があふれない
- ⑧玄関ホール。トールサイズの収納には夫の弓道の道具が収まる
- ⑨玄関から一直線に伸びる廊下にも多くの収納を設けている

Entrance Hall



Loft

“ロフトや庭へ視界が広がり暮らしのゆとりがいっそう感じられます”



①庭の植栽は手入れしやすい低木のみにとどめ、花壇に季節の花をあしらった。雑草対策として広く砂利を敷き詰めている。外の塀は既存

②竣工後、物干しスペースとして増設したサンルーム。掃き出し窓の中央が大きく開き、出入りがスムーズ

③LDKと寝室を一体化させた巨大なワンルーム。来客時やエアコン使用時には引き戸3枚を閉じて空間を切り離せる。廊下側に収納を連ね、上部をロフトとして活用

④東西に長い約13畳のロフトには本棚を造作

収納も多くスッキリと片付きます



⑤⑥寝室はリビングの延長としても機能することを考慮し、あまり生活感が出ないように意識。ベッドを置かなくてもいいよう、中央に小上がりの畳コーナーを設けている。ロフトへと続く階段部のみメーターモジュールを採用し、少しでも部屋が広く確保できるように工夫した。窓辺に据えたデスクは造作

Bed Room



PROFILE

大喜工務店

高強度と安全にこだわった無添加骨太高断熱住宅を提供

上質の檜材を産地から直接仕入れ、自社倉庫で長期自然乾燥させて使用。標準で3階建て仕様のベタ基礎や2階でもグランドピアノが置ける強度を採用し、すべての家が基準の1.5倍以上の耐震性能を誇る。さらに柱・梁・床・天井などを無垢材で構成し、壁にオリジナルの珪藻土などを用いた“無添加骨太高断熱住宅”を推進。過剰だと思われるほどのこだわりを貫き、大手建築会社に勤める幹部から家づくりを依頼されるほど信頼は厚い。

DATA

社名/大喜工務店
代表/藤田喜代次
住所/〒527-0087
滋賀県東近江市平田町764
☎0748-22-0028
年間建築棟数/新築22棟
社員数/7名
建築地域/滋賀県
設立/1952年1月
定休日/無休
アフターメンテナンスの対応・随時

こだわり抜いた上質な住まいを提供します

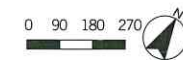
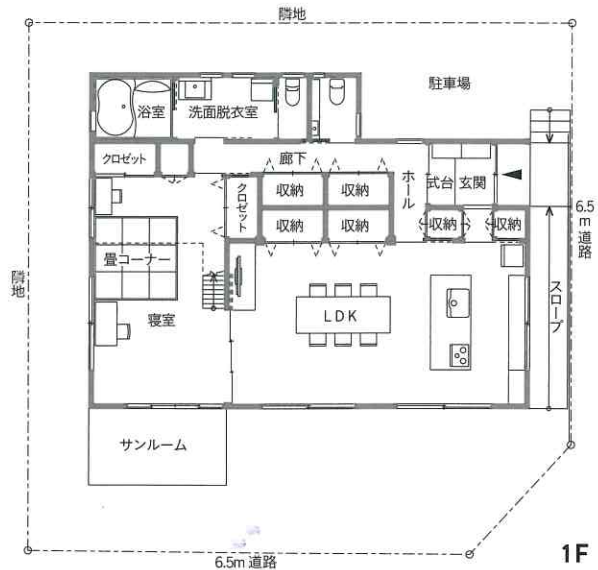
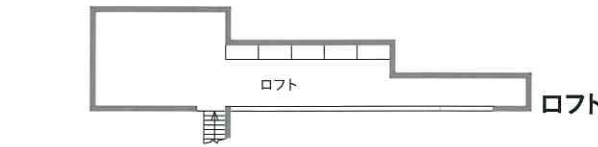


藤田英喜

100軒以上の住宅設計経験を持つ一級建築士。見た目のデザインだけでなく、生活スタイルに合わせて幅広い提案を行う。同じく一級建築士の社長とともに家づくりの全工程に携わる



「檜材は産地の東濃地方から直接仕入れて、自社で長期自然乾燥しています」と社長の藤田喜代次さん



DATA

敷地面積/212.86㎡ (64.50坪)
延床面積/99.19㎡ (30.06坪)
用途地域/第1種低層住居専用住宅
建ぺい率/50%
容積率/80%
構造/木造軸組工法
本体工事費/3000万円
竣工/2016年4月

INSTRUMENTS

キッチン/クテーナ
窓・サッシ/LIXIL
LDの照明器具/
パナソニック